

## 2020 年度事業計画書

(2020 年 4 月 1 日~2021 年 3 月 31 日)

### 【基本方針】

同盟育成会事業の二本柱である学寮事業と奨学金事業は、学寮事業で白山寮（男子）が建設から 6 年経過して市谷寮（女子）とともに満室状態となり、二寮体制(定員計 116 人)が軌道に乗っている。奨学金事業は、貸与奨学金の貸与支出が終了し（既貸与分の返済は継続）、給付奨学金に一本化した。給付奨学生の募集枠を前年度に引き続き学部生、大学院生各 25 人、給付奨学生全員で 100 人規模と設定し（前年度は未達）、研修会を充実させるなど、学寮事業と並ぶ基幹事業として充実を図る。

### 【収支見通し】

収支見通しは、収入面では電通株の配当金は前年度並みと想定され、収益事業である旧渋谷寮の駐車場への賃貸も安定的に推移しているが、超低金利長期化の下で収入の最大の柱の一つである債券運用利回りが前年度並みに低水準で維持する見通し。支出面では、80 周年記念事業の支出があるほか、退任職員の後任繰り上げ採用に伴う人件費増加、ホームページ更改費用の計上などが見込まれる。今年度収支は、これまでのような剰余金（黒字）は期待できず、先行きを慎重に見極める必要がある。

### 【管理部門】

資産運用＝予算計上した年間収入 2 億 7,189 万円を達成するため、金融資産については、株式を除いて、年間 2.2%程度の利息収入の確保を目標に運用する。

ただし、比較的リスクの高い仕組債等は金融資産全体の 30%以内にとどめることを原則とし、財務体質の健全性を維持する。

### 【組織運営】

雇用延長の社会的要請に応えつつ、業務運営能力の中期的向上を図るため、職員・嘱託職員の雇用延長の制度化、人材確保のための条件整備を行う。

### 【創立 80 周年記念事業】

2020 年度は同盟育成会・同盟学寮の創立 80 周年に当たる。記念事業として

(1) 80 年史の刊行

- (2) 創立記念会の会場を都内一ツ橋の如水会館に移し、学寮、奨学金両事業にわたり内容充実
- (3) 役員（希望者）による創業家墓参一などを計画している。

#### 【学生寮事業】

- (1) 2020 年度の新入寮生の見込み＝白山寮、市谷寮の定員はそれぞれ 54 人、62 人。欠員に退寮予定者を加えた 2020 年度の受け入れ可能数は、白山 17 人、市谷 20 人。新入寮生は、白山は合格 16 人、補欠 1 人。市谷は合格 16 人、補欠 2 人。
- (2) 2021 年度の新規入寮者募集＝2021 年度の入寮者募集は、2020 年度と同様、エントリーシート方式により実施の予定。面接を受ける者には、前年度と同様、上限を設けて交通費を支給する。
- (3) 教育補助事業＝毎年恒例の新入寮生対面式（4 月）、創立記念行事（10 月）、成人式（1 月）を財団主催で開催するほか、寮生が自主的に実施する予定の新人歓迎会（4 月）、夏季キャンプ（8 月）、クリスマスパーティー（12 月）、卒寮生送別会（2 月）、TOEIC 受験（秋）等に補助金を支出する。各行事の実施に際しては、原則として寮長が参加し、指揮、監督に当たる。
- (4) 保健・衛生＝2020 年度は、新型コロナウイルス対策を進めるほか、財団の負担で、寮生希望者にインフルエンザの予防接種を受けさせるなど、寮生の健康維持に努める。

#### 【奨学金事業】

- (1) 新規採用目標＝大学院生を対象とした給付奨学金は、前年度と同様、新規 25 人の採用を目指す（前年度は未達成）。達成できれば、奨学生は合計で 2019 年度の 37 人（休学中を除く）から 44 人となる。給付額の月額 6 万円を維持する。  
また、学部生を対象とした給付奨学金も、前年度同様に新規 25 人の採用を目指す（前年度は未達成）。目標が達成できれば、2019 年度の 45 人（休学中を除く）から 43 人となる。給付額の月額 4 万円は維持する。
- (2) 給付奨学生研修会＝大学院生と学部生の研修会は年 3 回、夏（7 月）と春（2 月）に実施、秋の研修会は 80 周年記念会で行う。

#### 【収益事業】

唯一の収益事業である旧渋谷寮跡地の日本パーキング株式会社への賃貸は安定的に推移しており、継続する。